

しあわせ

令和8年 5月 29日(金)
静岡大学教育学部
附属静岡小学校
2年 学年だより 6月号

思いをつなぐ「だるまはこび」

先日は運動会のご参観ありがとうございました。どの学級も当日のために全力で練習に向かい、切磋琢磨していました。当初はどの学級でも話合いの中で「順位ではなくて頑張ることが大切だよ」「みんな頑張ればそれでいいよ」というしあわせの2年生らしい優しい意見が多く出ていましたが、学年練習などを経て他の学級を意識することで「やっぱり運動会で優勝したい」「だるま運びで1位になりたい」と運動会への思いを強くしていきました。それからは「作戦会議をしたい!」とキャプテンが中心となって呼びかけ、各学級本番に向かっていきました。

どの学級も話し合いを重ねどうすれば勝てるか、タイムを更新できるかを真剣に考えている中で、ある学級はまず、走る順番を決めたいと考え、話し合いをしました。走順を決める際に身長をそろえるのか、足の速さをそろえるのかを話し合っていました。「バランスがよくなるように背をそろえたほうがいいよ」「足の速さが一緒じゃないと走るのが大変だよ」とどちらも自分の思いをもっており、話し合いが拮抗していました。意見を出すことは得意で理由も付けて話をできるのですが、まとめるのは難しくどうしたらよいかと困っていました。いつもの話し合いでは決定しきらないときにはよく多数決になってしまうため「今回も多数決になるかな?」と見守っていると、運動会キャプテンが「じゃあ、どっち(の意見)もいいから2つの意見をまとめて、チームのメンバーは同じくらいの背で、順番は速さ順にしてアンカーの方を速い人にするのはどうかな」と案を出し、学級に問いかけました。2つの案を1つにまとめる力にも驚きましたが、なにより話し合いで出た素敵な意見をどちらも入れた作戦にしたいという思いにとっても感動しました。自分の意見を伝えるだけでなく友達を思い、考える姿はとても「しあわせ」な姿だなと感じました。

練習にも話し合いにも全力で取り組んだからこそ、運動会本番では順位やタイムに嬉しい気持ちになった子も悔しい気持ちになった子もいました。しかし、各学級での振り返りでは「クラス皆で協力できてよかった」「自分たちの頑張りが組の役に立ったと思う」「1位にはなれなかったけど努力してよかった」など、初めに話をしてくれた「順位ではなくて頑張ることが大切だよ」という言葉が思い起こされる振り返りが多くありました。しかし子どもから出た言葉の重さはきっと当初とは違ったのではないのでしょうか。全力で取り組んだからこそ運動会の準備や本番を前向きに振り返り、「だるまはこび」を次の行事へとつなげる素敵なものへとすることができました。

